

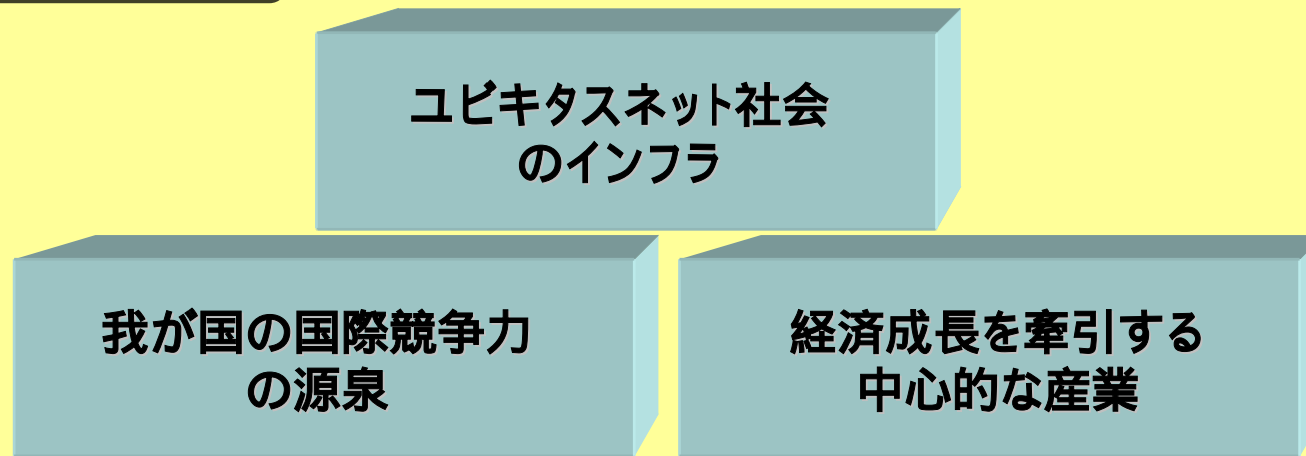
ユビキタスネット社会の実現に向けた政策懇談会
IT産業ワーキンググループ

検討の方向性(案)

事務局

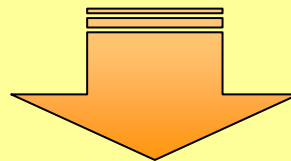
平成16年3月1日

IT産業の重要性



利活用の観点からIT産業における課題を抽出

ユビキタスネット社会の全体構想を踏まえ、2010年において想定される「誰でもどこでもいつでも」利用可能なサービスのイメージを提示



IT産業の戦略案を提示

ユビキタスネット社会のインフラ

1. 誰でもどこでも利用を可能にする技術・環境

- ・モバイル端末の高度化等
- ・認証等のプラットフォームの普及
- ・簡単で統一された利用方法
- ・セキュリティ

2. 利用促進のための制度改革

- ・電波有効利用の促進
- ・サービス分野における規制の見直し

3. 質の高い国民生活の実現

- ・バリアフリーな対応
- ・低廉な利用コスト
- ・多様なサービス提供

我が国の国際競争力の源泉

4. 国際競争力の強化

- ・日本発の国際標準の実現
- ・知的財産戦略による競争力の強化

経済成長を牽引する中心的な産業

5. 新たなサービスの創出

- ・新たなビジネスモデルの構築
- ・コンテンツ制作・流通環境整備
- ・人材育成



ユビキタスネット社会にふさわしいサービスの実現

現在想定される検討課題の案とその視点

(1) ユビキタスネット社会のインフラ①

1. 誰でもどこでも利用を可能にする技術・環境

・モバイル端末の高度化等

・モバイル端末の高度化や高速な無線LAN・情報家電の活用により、多様なサービスを提供

・認証等のプラットフォームの普及

・認証や課金のような様々なサービスに共通する機能を効率的に提供することにより、サービスの多様性に貢献

・簡単で統一された利用方法

・サービスごとに利用者側に習熟を要求しない統一的な利用方法を採用したサービスがさまざまな事業者から提供されることにより、サービス利用の需要が増大

・セキュリティ

・利用者の個人情報を守られるような仕組みを構築することにより、安心してサービスを利用することが可能

2. 利用促進のための制度改革

・電波有効利用の促進

・できるだけ広い範囲でできるだけ多くの情報が伝送できるようにするための電波の有効利用方策について検討することにより、情報量などに制約の少ないサービス提供が実現

・サービス分野における規制の見直し

・固定的な場所・時間・人等に依存せずに提供できるサービスの拡大により、サービス利用者の自由度が増大

現在想定される検討課題の案とその視点

(1) ユビキタスネット社会のインフラ③

3. 質の高い国民生活の実現

・バリアフリーな対応

・利用者が、その属性や利用地域・環境条件によらず、ユニバーサルかつシームレスなサービスを楽しむ

・低廉な利用コスト

・利用者のニーズを適格に把握した必要十分なサービスの提供により、より広範な利用者が容認できる利用コストでのサービス提供を実現

・多様なサービス提供

・一人一人の個性に応じた多様なサービスを提供することで、多角的な価値観と潤いに満ちた生活を実現

4. 国際競争力の強化

・日本発の国際標準

・我が国において提供されるサービスに係る規格やビジネスモデルを国際的に通用する標準とすることにより、諸外国においても国内と同様に様々なサービスを利用することが可能

・知的財産戦略

・「いつでもどこでも、より自由な利用」と「知的財産に係る正当な権利の保護」を整合性を取りつつも推進することにより、より広範なサービス利用と国際展開を含めたサービス提供の拡大の両立が可能

5. 新たなサービスの創出

・新たなビジネスモデルの構築

・利用者の視点に立ち、社会ニーズに素早く対応しこれを解決するようなサービス、高度なプラットフォームを活用したサービスなどの新たなビジネスモデルの構築

・コンテンツ制作・流通環境整備

・移動中などにいつでも利用可能な形態のコンテンツの提供増大が期待

・人材育成

・ユビキタスサービス技術やコンテンツ、ビジネスモデルに精通した人材を育成することにより、より充実したサービスの開発及び利用が可能